

2018 年度理工学部ソフトボール大会

大会実施要綱

1. 試合の仕方

<試合日程の決定>

(1) 大会ホームページまたは大会本部(下記参照)前の掲示板のトーナメント表から対戦相手を見つけ、そのチームに連絡して試合日程を決める。連絡先は大会ホームページの連絡先を参照。

(2) 大会本部前の「グラウンド使用予約表」に他の試合が入っていないかを確認し記入する。もし他の試合が入っていたら(1)に戻り、試合日程を決め直す。

ソフトボール実行委員会でグラウンドを押さえている以外の時間(グラウンド使用予約表参照)については、個別に学生総合センターにおいてグラウンドを予約する。学生総合センターでグラウンドがとれなかった場合は(1)に戻り、試合日程を決め直す

試合日程が決定したら本部 (yagamisoftball@gmail.com) ※変更になりましたまでメールにて試合日時を連絡する。詳しくは「6. 期限付きトーナメントについて」を参照してください

<試合当日>

(1) 試合前に体育館裏倉庫から必要な用具を持って行ってください。(5. 参照)。

(2) 試合をルール(2. 参照)にそって行う。天候不良などによって試合が中止になった場合は<試合日程の決定>(1)に戻り、試合日程を決め直す。

(3) 勝ったチームは試合日時・対戦チーム・試合結果を本部までメールで報告。また、借りた用具は借りた人が責任をもって体育館裏倉庫に返却をする。 **ボールをなくした場合は必ず大会本部に届け出てください。**

(4) 大会本部前のトーナメント表で次の対戦相手がわかり次第、すぐに次の試合日程を決める。 **塾長杯に参加するチームを決めるために、各ブロックの優勝を決定しなければなりません。**

2. ルール

(1) 試合は7イニングで行う。

(2) 7 イニングが終わらない場合、キリのいいイニングで試合を終了してください。また、片付けの時間、鍵の返却時間を考え余裕を持って試合をしてください。

(3) 試合終了時間に勝敗が決定していない場合、各チームの代表者がじゃんけんて勝敗を決

定してください。

- (4) 審判は基本的にセルフジャッジ。攻撃側が行う。
- (5) ボールは大会本部で用意した試合球を使用すること。
- (6) ピッチャーはホームベースから 13m 離れて下投げで投球すること。
- (7) 盗塁はなし。リードはピッチャーが投げてから。
- (8) 振り逃げはなし。タッチアップはあり。
- (9) バントは禁止とする。もし、行った場合は打者をアウトとする。
- (10) インフィールドフライは適用しない。
- (11) 打球がフェンスの外や側溝に落ちたらエンタイトルツーベースとする。
- (12) 打球がフェンスを越えたらホームランとする。
- (13) 5 ボール制，デッドボールは 1 ボールとする。
- (14) ストライクゾーンの高さは，膝頭から脇の下までとする。
- (15) 試合開始時間に前もって連絡なしに 15 分遅れた場合は，遅れたチームに対して 5 点のペナルティーが与えられる。なお，時間の基準は人数の揃っているチームの時計としてください。
- (16) バットはソフトボール用のものを使用する（軟式野球用バット等の使用禁止）。また、危険防止のため高反発素材製バット(ビヨンドマックス等)の使用禁止。ただし，両チームに合意がある場合のみいずれも使用可とする。

3. ハンデについて

ハンデについては以下の通り。以下を基準にして試合開始前にハンデを両チームの合意のもと決定してください。

参加者(2 回戦まで)		ハンデ	
		参加者出場チーム	相手チーム
女性		2 点 (*)	
教職員	45 歳以上	3 イニング以上で 2 点	
	45 歳未満	3 イニング以上で 1 点	
助人			一人につき 2 点

(*) 女性ハンデは，女性同士の交代は可とし，常時女性が出場した場合に限る。

- ・ ハンデに関しては必ず試合前にお互いに了解を得てください。
- ・ 助人とは選手登録されていない選手を指します。助人での参加は必ず試合前に相手チームに申告してください。申告しない場合は、チームを失格にします。
- ・ **ピッチャーの助人は禁止とします。**
- ・ 女性、教職員ハンデが加算されるのは2回戦までです。3回戦以降ハンデはつきません。
- ・ 助人ハンデについては3回戦以降もつきます。

4. ハンデのつけ方について

- ・ ハンデの上限を5点とします。しかし、助人ハンデの場合のみ、無制限にハンデがつきます。
- ・ ハンデのつけ方は点差をつけてください。

例) A チーム 女性 2 人, 教職員 1 人 (45 歳以上) ハンデ+6 点
 B チーム 助人 1 人 ハンデ - 2 点

この場合, A チームは上限規定+5 点および助人ハンデで 7 点のハンデを得ることができます。

例) A チーム 女性 2 人, 教職員 1 人 (45 歳以上) ハンデ+6 点
 B チーム 女性 2 人, 教職員 1 人 (45 歳未満) ハンデ+5 点

この場合, 点差がつくので, A チームが 1 点のハンデを得ることができます。

5. 試合をするための用具の貸出について

- (1) **2015 年度から用具の貸出の方法が変わりました。**
- (2) 選手登録の際, 学生番号を登録した方は鍵を借りることができます。鍵を借りられるのはグラウンドを使う時限の直前の休み時間からです。警備室に行き, チーム名, 氏名および学籍番号を申告し, **用具倉庫の鍵**を借りてください。(学生証が必要です)
- (3) 試合前に 1 試合につきボール 2 個, キャッチャーマスク 1 個, ベース 1 組, ヘルメット, ロープを体育館裏倉庫から借りてください。その際, 必ず借用者の学籍番号・名前・日時を試合結果と共にメールで報告すること。使用後は, 借りた人が責任を持って返却すること。

(注 1: ベース一組とロープはひとまとめにしてかごにはいっています。借りる際はこのかごと借りてください)

(注 2: ロープは, ピッチャーとホームベースとの距離 13m とベース間距離 18m を測るために使用してください。)

- (4) ベースとボードは 2 組用意してあります。使用後は必ず借りた人が責任を持って体育

館裏倉庫へ返却すること。

- (5) 試合終了後、用具倉庫の鍵は速やかに警備室に返却してください。次の試合に必要な
なります。鍵の返却はその授業時間内とします。(次の試合のチームに直接鍵を預けな
いでください。面倒でしょうが一度警備室に返却をお願いします)

6. 期限付きトーナメントについて

2016年度理工学部ソフトボール大会でも、「期限付きトーナメント」を採用します。

期限付きトーナメントとは1回戦を○月△日までに、2回戦を☆月◇日までに、というよ
うに各回戦に期限を設けることによって、トーナメントの進行をスムーズにすることを目
的として導入された制度です。この期限までに所定の回戦を消化していないチームは原則
として失格とします。

本年度も大会進行の円滑化のために、試合日時の決定にも期限を設けます。試合期限に
間に合うように試合日時を決定し、対戦チームのどちらかの代表者の方が大会本部まで試
合日時をメールで連絡してください。期限までに連絡がない場合は失格とするので十分に
注意してください。

予定していた試合が天候等やむをえない理由で中止となった場合は速やかに本部までメ
ールにて連絡してください。試合中止後1週間以内に試合決行期限内の代替試合日時を決
定し、同様に本部に連絡してください。

7. 敗者復活戦について

時間の都合上、敗者復活戦を行っておりません。ご理解、ご協力をお願い致します。

8. 連絡用メーリングリストについて(重要)

本年度より、全体の連絡用にメーリングリストを作成しました。参加方法のチェックボ
ックスにあるリンクからメーリングリストに参加してください。アドレスは以下のとお
りです。

yagami_softball2018@googlegroups.com

<注意事項>

- ・ 1つの研究室につき登録できるチーム数は2チームまでとします。また、同一人物が3
つ以上のチームに参加することはできません。不正が見つかった場合、いかなる理由で
あれそのメンバーが所属しているチームは**すべて失格**となります。
- ・ トーナメントは ABCD の 4 ブロックに分けて行います。各ブロック優勝チームには理

工学部を代表して塾長杯に参加していただきます。

- ・ 接触するプレー等には特に注意し怪我の無いようにしてください。事故があった場合は必ず理工学部ソフトボール実行委員会、学生総合センターに報告してください。
- ・ 汚れた靴のまま校舎内に入らないでください。靴の汚れは必ずグラウンドで落としてください。
- ・ グラウンド使用は試合優先とするため、練習のためのグラウンド予約は使用日の前日から可能とします。

<ご意見・お問い合わせ>

大会本部 機械工学科 泰岡研究室(25-319) 内線番号 42064

2018 年度理工学部ソフトボール実行委員会委員長 荻野健太

メール：yagamisoftball@gmail.com **※変更しました**